

NEWS RELEASE

情報発信資料



令和7年11月19日

小学校における「心肺蘇生法」の実技学習

小渕小学校では、5・6年生の保健の学習において、「けがの予防、安全な行動」についての学習を進めています。

今回、学習の一環として、小学校段階では比較的まれとなる、AEDの使用を含めた「心肺蘇生法」についても触れていきます。「けがの予防、安全な行動」の学習を通して、「心肺蘇生法」から命の尊さや共助の精神についても学び、救命のために自分たちにもできることを知り、行動と考動ができる態度や能力を育成します。

1 日 時 11月21日(金) 午後1時45分～午後2時20分(5校時)

2 場 所 小渕小学校 体育館

3 参加児童 小渕小学校 5・6年生 89人

4 目 的 心肺蘇生法の実践を通して、命の尊さについて学び、救命のために自分たちにもできることを知り、行動と考動ができる態度や能力を育てる。

5 備 考

- ・当日の胸骨圧迫の実習場面では、応急手当普及員の資格を持った校長や養護教諭が中心となって指導し、希望する保護者の参加を予定している
- ・「心肺蘇生法」の内容は、教職員も事前に研修を行った



問い合わせ先

学校教育部 指導課

担当：篠崎

直通 048-763-2448